

平成29年度

第1回会津美里町総合教育会議  
議事録

## 平成29年度第1回会津美里町総合教育会議

- I. 日 時 平成29年6月26日(月)午後1時00分
- I. 場 所 会津美里町役場 高田庁舎 第3会議室(2階)
- I. 出席者 町 長 渡部 英敏  
教育 長 佐治 和則  
教育長職務代理者 鶴賀 イチ  
委 員 小関 れい子  
委 員 須田 健志  
委 員 武藤 周一
- (町側出席者)
- 副 町 長 弓田 秀樹  
総務課長 佐々木 宏光
- I. 事務局 教育次長兼こども教育課長 佐々木 康  
生涯学習課長 須藤 哲也  
こども教育課長補佐 阿部 満枝  
生涯学習課長補佐 福田 富美代

## 平成29年度第1回会津美里町総合教育会議次第

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 奨学資金制度の改正について
  - (2) フッ化物洗口について
  - (3) 歴史文化基本構想について
  - (4) その他
- 4 閉 会

○開会時刻 午後1時

## 1. 開会

教育次長 　　ただ今より第1回会津美里町総合教育会議を開会いたします。  
はじめに町長の挨拶をお願いいたします。

## 2. 町長挨拶

町長 　　日頃から町教育行政につきましては、教育委員の皆様には大変お世話になっております。感謝申し上げます。

先日鏡石町で全国あやめサミットが開催され出席してきましたところですが、地元教育長は急遽、給食問題で欠席をされました。教育行政を取り巻く諸問題に対応すべく、大変であると感じているところであります。

本日は3つの協議事項があげられておりますが、先日県知事が来町し、その際に県指定文化財に関係する各保存団体の方もお集まりいただき、文化財の県指定、また修繕工事等について感謝申し上げたところであります。

本町関連では、只見線の鉄道復旧工事開始、7月30日には博士峠トンネル工事着工されることになり、完成後のわが町にもたらす影響が期待されるものです。

さて、教育関係についてはお金がかかることは勿論ですが、教育環境についてはしっかりやっていきたいと思っております。教育内部の件については教育委員の皆様をお願いしたいと考えております。本日はよろしくをお願いいたします。

教育次長 　　それでは、次に協議に移ります。進行を教育長をお願いいたします。

## 3. 協議

教育長 　　教育について、町と教育委員会が協議し、互いに理解を深めるということが大きな目的です。現在、教育委員会でこのようなことを考えているんですよ、ということをお協議事項にあげさせていただきました。

それでは、「(1)奨学資金制度の改正について」事務局の説明をお願いいたします。

教育次長 (「(1) 奨学資金制度の改正について」、資料に基づき説明。)

人口減少対策として、「会津美里町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」の中の「子ども教育充実」に、高校・大学進学者への奨学資金制度を拡充するとともに、卒業により本町に戻ってくる場合は、奨学金の返還を軽減するような奨学資金の制度を検討する。」とあります。

それに基づき、現行の「月貸与金」のほかに「一時金」の創設と、会津美里町に戻ってきた方には返済額の2分の1の額を免除してはどうかと考えているものです。

現在、奨学資金基金は条例上、1億3千万円の定額運用をしているのですが、昨年度新規申請7名(大学5名、高校・専門学校2名)、新規返還14名、計133名の償還されている方がおります。返還される方が多いため基金残額が年々増額している状況にありますが、裏を返せば借りる方が減少しているということでもあります。

現在の新規返還者の14人の内7名は本町に戻ってきております。今回改正したいと考えている一時金の創設、返還免除ということになれば、さらに3人は多く戻ってくるだろうと見込んでおります。

改正が認められれば、免除対象となる方が4年後から返還免除になりますが、平成40年度には返還免除額は概ね総額3,500万円となります。しかしながら約30の方が本町に戻ってくるとなればメリットは大きいと考えます。

町長 戻ってきている方が増えるとなれば、町にとってはありがたいことです。

教育長 事務局としては、全額免除ということも考えたところですが、財政的なこと、また、免除したけれども仕事の都合等で転出する場合もある。であれば、町に住所を有している間は、半額免除が妥当だろうと考えたところでは。

町長 国では返還しなくても良いと言ってるのでは。

教育次長 新しい奨学金制度について国の法律を作りましたが、全国平均にすると一つの学校に一人か二人回ってくるか回ってこないかです。所得制限もあるため、誰でもが対象になるということではありません。

町長 教育関係の費用を無料にするというところもあるのでは。

教育次長 いわき市長選挙に立候補されている現職の市長が、公約に幼稚園、保育料を全額免除にするということ言われております。

国で言っている無料化はまだ確定しておりません。

本町で今後考えられるのは給食費であります。ただ年間1億円近くかかり

ますのでできないかと思えます。

町長 給食費は無料にすべきで無いと考える。  
奨学金は、勉強したい人が活用するわけであり、そして町に戻ってくる。こんなありがたいことはない。

委員 返還免除し返還が終了した時に、永く居住してもらうことに繋がる何か施策があっても良いかと思えます。

教育次長 返還期間は8年間あるので、ほぼ町内に定着するのではないかと思えます。ただ一括返還して転出するということはできない決まりを設けたいと考えております。

委員 結婚し、住宅の問題で転出するという方もいるのではないかと思うので、連携すればそれも防ぐことができるのかなと思いました。

教育長 本来であれば就職も町内に勤務しているということが理想ではありますが、中々難しいかと思い、町内に住所を有することが最善と考えたところです。

町長 募集しても集まってこない。看護婦、保育士も不足している。新しくできる平成会建設の老人ホームで介護士等 70 名募集をしているが、まずは資格は無くとも勤めながら資格を取得してもらえば良いとっており、宮川荘でも募集しているが中々集まってこないのが現状だ。資格があれば直ぐ採用されると思うが、高田厚生病院でも看護師応募がない状態である。  
資格のある人の免除額を多くするとか、職種を限定するとかはどうか。

教育次長 それはできると考えます。いくら募集かけても集まってこない現状があるので、職種限定で全額免除するとかは可能だと思います。

町長 結局、戻って来いといっても仕事が無ければ戻ってこない。ただ今は募集している事業所があるわけだから、しかも資格が無くても良いと言っている。  
中には、そのようなことで就職し、職場結婚、一緒に勤務、子供も生まれ現在も本町に住んでいる。このような人が増えれば良い。

教育長 理想ですね。  
今専門職を限定に免除するという話も出ましたが、委員の皆様はご意見ありませんか。

委員           私は、職種を限定するのはあまり賛成しません。限定することにより、それ以外の職種の方を排除するということにもなってしまいます。ですので、現段階において職種は限定しない方が良いと思います。

          ただ、その職種の人員が確保できないということであれば、戦略的に取り組むことはあり得るのかと思いますが、なかなか難しいのかなと思います。

委員           以前、育英会という学生支援では、教職に、ある一定期間就くと全額免除ということがありましたが、町のお金を使って免除するということですので、2分の1免除は妥当なのかなと思います。

          子供の貧困ということを考えれば、学びたいけれども学べないという本町の子供たちを救うということを考えれば、職種を限定するのは好ましくないと考えます。

教育長       今後もう少し考えていかなければいけないですね。

          それでは、次に「(2) フッ化物洗口について」、事務局の説明をお願いします。

教育次長     ((2) フッ化物洗口について)、資料に基づき説明。)

          福島県内の虫歯のある6歳児の割合が、全国で最も多い。

          県内の市町村別3歳児の虫歯の状況(虫歯有病者率)、県総計 24.82%、本町は43位(33.6%)で、6歳児、12歳児においても県平均率を下回っているため、全町をあげて対策に取り組んでいきたいと考えています。

          洗口(ぶくぶく)できない幼い子どもについては、健康ほけん課がフッ素塗布を行い、洗口が可能となる児童・園児から中学校3年生までフッ化物洗口を行い、町総ぐるみで虫歯対策を実施していきたいと考えます。当然必要なのは、ブラッシングの徹底指導は第一ですが、それに加えてフッ化物洗口をやりたいというものです。

町長           よろしくをお願いします。

教育長       教育委員会だけでの問題ではないので、是非、全町をあげて取り組んでいただきたいと考えて議題に上げさせていただきました。

町長           是非やって下さい。

          水道水にフッ素を入れることはできないのかな。

教育次長     新潟県では、実際、水道水にフッ素のイオンを入れて実施しております。

町長 水源地に入れば、本町だけでなく、会津若松市や会津坂下町でも効果はあるわけだから入れば良いと思っているが、入れることができないと言われた。

本町は、水が良いから水道の加入率が低い。フッ素を入れれば加入率は伸びるのではないだろうかと思っている。

委員 合意が無いと難しいと思います。やはりフッ素に対する物の考え方だと思います。虫歯保有率が多いということに対し施策としては効果が高いと考えますが、そこまでの意識がない方が多いです。

教育長 本町としては何とかしなければならない。

委員 教育委員会だけでなく、先ほど次長の説明にもありましたが、健康ほけん課も含め、町全体として取り組む必要があると思います。できるだけ小さい頃からやった方が良いです。

委員 虫歯は認知症にも影響があると言われていています。認知症にやさしい町と言われておりますので、取り組みの一つとしてやっていくと町全体で良くなっていくと思います。

町長 小さいうちからの方が良いのでしょうか。

教育長 塗布は歯医者でやってもらうしかないのでしょうか。

教育次長 ぶくぶくができない子どもには塗布という形で、歯科検診でも取り組みは可能です。

教育長 1回だけでは駄目ではないですか。

教育次長 歯科検診は年1回ですが、塗布は定期的に数回必要になります。

委員 他県ではかなり効果があったと聞きました。

教育長 歯科医の理解も得なければなりません。  
県でも一生懸命取り組んでいます。

委員 町で取り組んでいただければ、町民の意識も変わってくると思います。

総務課長       このように取り組んでいるところと、取り組んでいないところの差が、明らかに数値に表れてきています。フッ素だけの取組みではないのかもしれませんが。

委員           やはり歯科医師の理解が大事になってくるかと思います。  
町からの働きかけもお願いしたいと思います。

教育長       虫歯対策については、町全体で取り組んでいただきたいとのことで、次に移らせていただきます。

教育長       次に「（３）歴史文化基本構想について」、事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長   （「（３）歴史文化基本構想について」、資料に基づき説明。）  
今後、調査部会を立ち上げ、指定、未指定にかかわらず、総合的に保存、活用していくためにゾーンと言われる領域設定、テーマづくりを進めていきたいと考えています。  
最終年度には、町総合計画のほか、各課で作成しております人口ビジョン・総合戦略、都市計画マスタープラン、農業振興計画・森林整備計画、観光振興計画とタイアップしながら、文化財を中心に地域全体を捉えた魅力的な地域づくりを目指し構想策定していきたいと考えております。

教育長       文化財を活用しながら、何とかまちづくりに活かしていけないものかと考え、狩野委員長をはじめとする委員の方々と一生懸命進めております。本町は文化財の宝庫とも言われておりますので、それを活用した何かができないものか、まちづくりに活かさないものかと考えているところです。  
      昨年調査結果がありますよね。

生涯学習課長   昨年度は悉皆調査を実施しまして、台帳を作成しております。

教育長       会津風土記を基に洗い出しをし、資料を作成しました。今年は、この資料に載っていない文化財等の調査を進めていきたいと考えております。  
そしてこれを使って、物語ができないものかと今考えているところです。  
本日は途中経過ということで説明させていただきました。

町長       本当にわが町は多くの文化財があり、他の町村長にも羨ましがられていて誇らしい限りです。

教育長       今おっしゃられたように、わが町規模で国宝があり、国指定も 10 件あり、

県、町指定を含めて100件以上あるのは、他には無いと思います。

これを活用してまちづくりに活かしたいと考えております。

町長 3月に町指定文化財になった赤留の不動堂だが、本当に赤留集落の方々が大変喜んでいて、集落全体を挙げてお祝いをしていました。

この指定を機に、集落が活気付き、また保存していかなければいけないという気運が高まっていくんだなと思ったところです。

委員 町の施策は色々ありますが、町民にとって一番分かりやすいのはやはり歴史と文化だと思うんですね。何もないと自然と廃れていくだけだと思うのですが、こういうことが認められれば、誇りに感じ、自然と活気づいてくると思います。

ですので、歴史文化基本構想ができればすごく町民にとってわかりやすいまちづくりになるのかなと思います。

町長 地元にあるものは地元で守っていかないと駄目になっていく。あるところでは、除草とか手入れをしていた方が怪我をして手入れができなくなり、管理が行き届かなくなったときに、これではいけないとのことでその地域の方が管理していくようになった。やはり地域全体で守ってくという気持ちが大事だと感じたところです。

御田植え祭り調査事業は、この後はどのような予定でしたか。

生涯学習課長補佐 今年度は調査報告書をまとめる年ということで、現在各委員の方に原稿を執筆していただいております、また若干調査が残っているとのことで、昨日、担当委員の方が太鼓台調査を実施したところです。今年の祭りでも調査を実施いたします。冊子については年度内中には印刷発注をする予定で、それに向けて原稿の取りまとめをしていきます。

冊子は今年度中に仕上げますが、来年度には保存のための映像記録をしていきたいと考えております。

町長 それを国に上げて国指定になるのか。

生涯学習課長補佐 必ずしも指定になるとは言い難いところです。

町長 指定になれば国費が付くのではないか。

生涯学習課長補佐 指定になったからといって国からお金が入るということはありません。例えば今後において、でこ様人形を修繕したいとか祭りに関連する備品を新調したいとかになれば、それに対し国補助金を申請し、認められれば2分の

1の補助金がいただけるというものです。ただそれには4分の1の町負担が必要になってきます。

教育長           ただ、でこ様人形についてはかなり痛んでおりましたので、民間の補助金を活用して修繕をする予定です。町でも若干ですが補助をするものです。

                  来年度はビデオ撮影もしたいということでしたので、高田地域の小中学生だけでなく、本郷、新鶴地域の小中学生を参加させて、町全体で取り組んでいくような方向性で考えております。

委員             昔は本当に多くの方が参加していました。

教育長           最後に「(4) その他」としまして、お話ししたいことがありましたら発言をお願いします。

総務課長         私の方からお願いがございませう。

                  人口減少については大きな課題としてとらえており、財政においてもそれへの対応として、財政調整基金として組んでおります。先ほどの奨学資金の関係でございませうが、月々7,500円の猶予で本当に町に残りたいと言うような気持ちになるのかどうか、3万でよいのか、現在奨学資金を利用されている方に意見聞いてみるとか、制度を作るのであれば実効性のあるもの、成果のあるものにしたという町の考えがありますので、もっとこうの方が良いのではとかいろいろな意見があると思ひますので、それを踏まえ検討していただきたい。

                  併せまして、制度改正をした時に、今年借りた人は該当しなかつたが来年度借りる人は該当するということに不満を感じる方が必ず出ると思ひるので、できるだけ不公平感の出ないような形での制度設計を一緒に考えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長           今朝の新聞では、大学生は自宅外通学で約12万円かかると掲載されておりました。その内57,000円が奨学金であるとのことでした。その奨学金を町の奨学金だけで賄うことは難しいと思ひます。本町の特徴は、国の奨学金は借りて良いとしておりますので、両方借りることができます。ですので、まずは国の奨学金を受け、不足分に町奨学金を充てるということによいと思ひます。国は有利子ですが、本町は無利子です。貸付額を多くしてしまうと、借りるときは良いですが、必ず返していただくことになりませう。国5万、町5万とすれば返すときは10万円返さなければなりませう。

                  ですので、町の金額を上げてしまふと逆に苦しめてしまふのでは無いかと思ひていませう。町議員から額の増額をとの意見もありましたが、貸せばよいだけではないと思ひます。

委員 奨学金返還が2分の1免除となれば、金額を増額すればメリットも大きいのかと考えますが、難しいですね。

教育次長 アンケート調査は実施しておりまして、62人中48の方が現行どおりの金額でよいと回答をいただいております。また29の方が、日本学生機構からの奨学金も併用しており、アルバイトをされている方は32人おりました。  
その結果を踏まえて金額を設定しているところでありますが、今後詳細について詰めていきたいと思っております。

#### 4. 閉会

教育長 本日はありがとうございました。  
これをもちまして、平成29年度第1回会津美里町総合教育会議を終了いたします。

○閉会時刻 午後2時10分